

七月互選「複雑」 数字は票数

4どもならん事はいちいち悩まない 広子

純一〇 ひよこ 千楽

難しい用語使わぬ名医です 千楽

哲子 世良〇 乃り子

夫婦だが所詮は他人裏表 幸男

英二 純一 アキラ〇

ゴミ捨て場万博ひらき大丈夫 基弘

世良 えいじ ひよこ〇

登録を何度もミスでもうええわ ミチ

世良 健一 広子 郁子

5バイキング値の張るものを選れと妻 アキラ

哲子 えいじ〇 きよな ミチ

7嫁姑そこへ小姑参戦し 英二

乃り子 基弘〇 健一 広子

千楽 郁子

8単純を複雑にして会進む 純一

乃り子 基弘 えいじ 広子

千楽〇 アキラ ミチ

知恵の輪のように絡まる赤い糸 きよな

英二〇 哲子 健一〇 広子〇

ひよこ

10.気遣って料理褒めたらイオン製 健一

乃り子〇 純一 えいじ 広子

アキラ ミチ〇 郁子〇

お題「山」(連記) 谷口ひよこ選

山道を荷車引いて義母の行く きよな

山を掛け出世街道棒に振る 幸男

表情マルチ朝日にキラリ冬の富士 千楽

猛暑日に夢見る雪の愛宕山 広子

マイナスのイオンを浴びて山の滝 ちさと

今日が山皆んなの想い届くかな えいじ

雪渓を背に夏旅のワンショット 郁子

低山を百登ったと自慢して 純一

モンブラン山の名前と知らぬ孫 アキラ

南海トラフ生駒はないと山かける 乃り子

大阪と奈良は違った生駒見る 英二

山にまで持って行くのか扇風機 基弘

頂上がすぐそこなのに高山病 ミチ

幾山河越えて視界に崖がある 正清

押し並べて決定権は山の神 健一

秀 見上げてた人生いまは八合目 哲子

軸 登山靴今は下駄箱隅の方 ひよこ

お題「記憶」勝部乃り子選

帰宅時のお帰りの声祖母の笑み 哲子

記憶ではそうだがまるで自信ない ひよこ

パリ五輪記憶に残る迷場面 幸男

断片の記憶だけしかない麻酔 正清

覚えてる並んで見てた遠花火 哲子

何事も覚えたりせずすぐパチリ 健一

お互いに補い合っている記憶 郁子

懐メロを聞いて脳内走馬灯 ミチ

思いだしたくない記憶だけ残る ちさと

年号は鳴くよウグイス忘れない 千楽

間違った記憶はよけいややこしい 広子

帰省して僕の故里こんな町 英二

砂浜を熱い熱いと走った日 純一

明日まで覚えているか自信無い えいじ

秀 最初から忘れる自信ある記憶 正清

軸 記憶には御座いませんとしらを切る乃り子

お題「消す」田中純一選

暗い過去消して人生今が旬 基弘

神代から消しても消せぬ人の業 哲子

戦争の火花消す人誰か来て ひよこ

爆弾が一家のすべて消し去った 千楽

誤送信削除不能と汗タラリ 乃り子

削除キー叩けぬ浮世難儀やね 広子

何事も乗り越えてきた消去法 幸男

消えそうな足跡たどるサスペンス 哲子

あの顔が出たらテレビはすぐに消す 英二

黒塗りの開示いや増す不信感 郁子

のど元を過ぎても消えぬ終戦日 正清

妻の愚痴補聴器そつとオフにする アキラ

鍵音も足音も消し午前様 きよな

歴史消す恐れ閉鎖へ資料館 郁子

秀 続けざま歌う上司の予約消し 健一

軸 消しゴムで消したい過去が山とある純一

お題「うっかり」(共選) 森里えいじ選

無礼講つい本音出て左遷され 千楽

二度うっかり脳の検査を受ける羽目 英二

盆おどり神様さえもうかれでる

正清

あの人は上手にうっかり出来る人

英二

迂闊にも口が滑ってばれる嘘

きよな

うっかりが重なり終に茶番劇

哲子

ほぼトラをトラのアレかと勘違い

アキラ

煽てられ引き受けた役荷が重い

アキラ

うっかりかボケか分からぬ歳になり

健一

小池知事張り切りすぎた始球式

健一

注意する親もうっかりミスをする

きよな

うっかりで人類滅ぶ核武装

千楽

うっかりが始まりと知る白寿過ぎ

幸男

先生と上司を呼んで照れ笑い

ミチ

秀 うっかりと妻の地雷を踏みトホホ

基弘

軸 寝過ごして生ゴミたまる回収日

えいじ

お題「うっかり」(共選) 原 広子選

近頃はうっかりしたですまされる

えいじ

これはもううっかりでなく平常だ

ミチ

酔とみりんよくまちがえておつな味

ちさと

うっかりかボケか分からぬ歳になり

健一

オートロック鍵を持たずに部屋を出る

基弘

うっかりミス避けるマジックペンのメモ

郁子

うっかりと名前忘れてねーねーと

純一

うっかりと妻の地雷を踏みトホホ

基弘

買った傘駅に忘れて真っ青に

ひよこ

無礼講つい本音出て左遷され

千楽

寝過ごして生ゴミたまる回収日

えいじ

うっかりで人類滅ぶ核武装

千楽

煽てられ引き受けた役荷が重い

アキラ

先生と上司を呼んで照れ笑い

ミチ

秀 あの人は上手にうっかり出来る人

英二

軸 熱中症に気をとられ庭枯らす

広子

自由吟 野々村アキラ選

妹の涙が枯れてカタキ討つ

千楽

棒きれと石でいくさの第四次

千楽

エサがない山を下りたら包囲網

千楽

柔道は名前にホレた三四郎

千楽

夏空に雲がほしいと影望む

基弘

盆前にお節料理をきめる母

基弘

文字写真余白作らぬ新聞紙

基弘

新札の見慣れぬ顔がちらほらと

基弘

金メダル口にしたがるお国柄

義雄

半ベその三毛が写ったウクライナ

手火花で喜寿も米寿も童心に

自分史の主役に疲れ見え始め

生きてるか掴みきれないトコロテン

乃り子

空蟬や衣装を脱いで夏をおく

父の日の夫に一日なる電話

あれですかああそれそれで通じてる

楽しみを作って捨てて又作る

ちさと

天災が忘れないでとやってくる

うっとりか似合う女の露天風呂

半額の賞味期限で知る月日

心配の種も春から社会人

健一

いつの間に強くなったかフェンシング

花のパリ泳ぎたくないセーヌ川

日ごと弱る母すべ無くただ祈る

戦などしてる場合か地球危機

郁子

パリ五輪終われば次は甲子園

甲子園ふりがなの要る球児の名

ワクワクとハラハラ夏の甲子園

黎明の開聞岳が帽子ふる

正清

お位牌をABCとランク付け

もだの声読唇術と地藏尊

△と□をたどり○に着く

蝸牛岩間出て来て自慢顔

純一

オリンピック小躍りしてる金メダル

火花見て今年の夏も無事過ぎる

人は皆想い出友に生きている

病院のバス乗り三度頭打つ

ひよこ

誕生日スイカがいいなケーキより

大河では史実を変えてほしくない

誰にしよドールハウスの主人公

この夏はパリの時間で過ごす日々
目が覚めて蝉の鳴き声天気知る
メダカ鉢アシナガ達が水運ぶ
ボルダーを無理と知りつつやりたいな

ミチ

6家の外でそつと受け取るユーパック 健一
秀7アルバムからこつそり剥がすツーショット
郁子

お題「こつそり」奥村義雄選

まさかとは思っていたが四十度
朝まだき二十七度の涼しさよ
エアコンの居間で熱闘甲子園
四万円早くください岸田さん

アキラ

熱風をかき回してるサルスベリ

広子

猛暑日の助っ人は大葉にシヨウガ
大丈夫老いは病と違えます
塩分は気にせず食べる夏の膳

六尺の禪締めた遠い夏

英二

二の腕の日焼けを孫と競い合う
大はむり「」の字で寝る癖がつき
青春は夏思い出の鉾大文字

一人では何も出来ぬが生きている

えいじ

昼寝して損した気分すぐに夜
趣味が増え生きる喜び湧いてくる
身体冷えたまにお庭で甲羅干し

ここにきて昼は各自と妻はいう

哲子

窓灯す五輪づかれの街の景
初盆に桃を供えて母を待つ
パリ終わり今は熱闘甲子園

母の歳まで元気でいよう決めている

きよな

吹き出す汗喉にひんやりかき氷
夏の色白いソーメン冷奴
天日干し梅の香旨い唾ジュワツ

勉強会 お題「こつそり」 互選 数字は票数

3午前二時起きたついでにコップ酒
偉い人でもこつそり隠す事もある

えいじ

こつそりと買った洋服着づらくて

きよな

こつそりと深夜の帰宅二階から
4気にするなと人に言いつつエゴサーチ

純一

いたずらを素知らぬ顔で隠す孫
熱帯夜ボリユーム下げて見る五輪

きよな
健一
ミチ

佳 一つだけ買ったスイーツさつと食べベミチ

家の外でそつと受け取るユーパック 健一
偉い人でもこつそり隠す事もある きよな

こつそりと買った洋服着づらくて ひよこ
熱帯夜ボリユーム下げて見る五輪 ミチ

アルバムからこつそり剥がすツーショット 郁子

秀 あれやこれこつそり学び無事大人 アキラ

☆七月三十一日奈良新聞 北谷敦美選

題「カレー」巻頭句獲得 おめでとう
カレーの日重いバケツも気で運ぶ 哲子

☆朝日川柳(全国版) 八月七日 山丘春郎選

暴落をしてから理屈専門家 英二

九月二日(月) 十三時〜 いきいきホール一階
「よもやま話の会」 *ご希望の方は参加下さい

*楽しく喋ることは最大の老化予防です

九月十二日(木) 十三時〜 いきいきホール一階

勉強会 お題「あつさり」二句
前日までに事前投句 *ご希望の方参加を

九月十六日(月) 北集会所

九時十分開場 九時三十分開始 「節約」互選
「酒」(連記) 基弘 「閉める」哲子

「ぎりぎり」(共選) きよな 英二 各二句
*英二選をオータムフェスタに展示

自由吟 自選六句(既発表句も可)
*自由吟、オータムフェスタに展示

「推薦十句」広子
九月十四日(土) 一五時迄にアキラまで
メールで投句

*九月句会 時間、会場、よくご確認ください